



令和8年4月13日
国土交通省関東地方整備局
利根川下流河川事務所

令和8年度 利根川下流河川事務所 事業概要

～利根川下流における流域治水の推進に向けた取組～

令和8年度利根川下流河川事務所主要事業の概要をお知らせいたします。

利根川水系では、「令和の大改修」と銘打ち、令和元年東日本台風によって堤防天端から約1mまで水位が上がるなど既に顕在化している気候変動に対応すべく、河道対策と、既存ダムの有効活用や中止ダム予定地の活用、砂防施設の整備などの上流対策を強力に推進し、治水安全度の早期向上を目指します。

利根川下流河川事務所では、利根川の洪水氾濫を未然に防ぐため、堤防未整備区間の早期完成に向けた整備や日本最大級のヨシ原を含む良好な河川環境の保全・創出、北千葉導水路等の河川管理施設の点検・補修・更新などを推進していきます。

令和8年度の主要事業概要は、以下のとおりです。

1. 治水対策の推進
2. 危機管理対策の推進
3. 美しい自然や良好な景観、自然共生空間の創出
4. 安全で安心できる暮らしを支える導水路の管理
5. 安全性を持続的に確保するための維持管理

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ 千葉県政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 利根川下流河川事務所

電話：0478-52-6361（代表） FAX：0478-52-9725

副所長（工事） 酒井（さかい）（内線：204）

副所長（調査） 伊藤（いとう）（内線：205）

工務課 課長 平田（ひらた）（内線：311）

令和8年度予算総括表

事業費（百万円）

予算項目	令和8年度 事業費 (当初)	令和7年度 事業費 (補正)	令和7年度 事業費 (当初)	前年度比 (当初)
河川改修費	2,323	1,910	2,451	0.95
河川維持修繕費	1,808	408	1,949	0.93
河川工作物関連 応急対策事業費	94	296	730	0.13
堰堤維持費	1,505	178	1,419	1.06
堰堤改良費	78	-	-	-
総合水系環境整 備事業費	23	-	26	0.88
合計	5,831	2,792	6,575	0.89

* 上記のほか、諸費等があります。

四捨五入の関係により、合計値が一致しない場合があります。

とねがわうがんちくてい
利根川右岸築堤

事業の概要

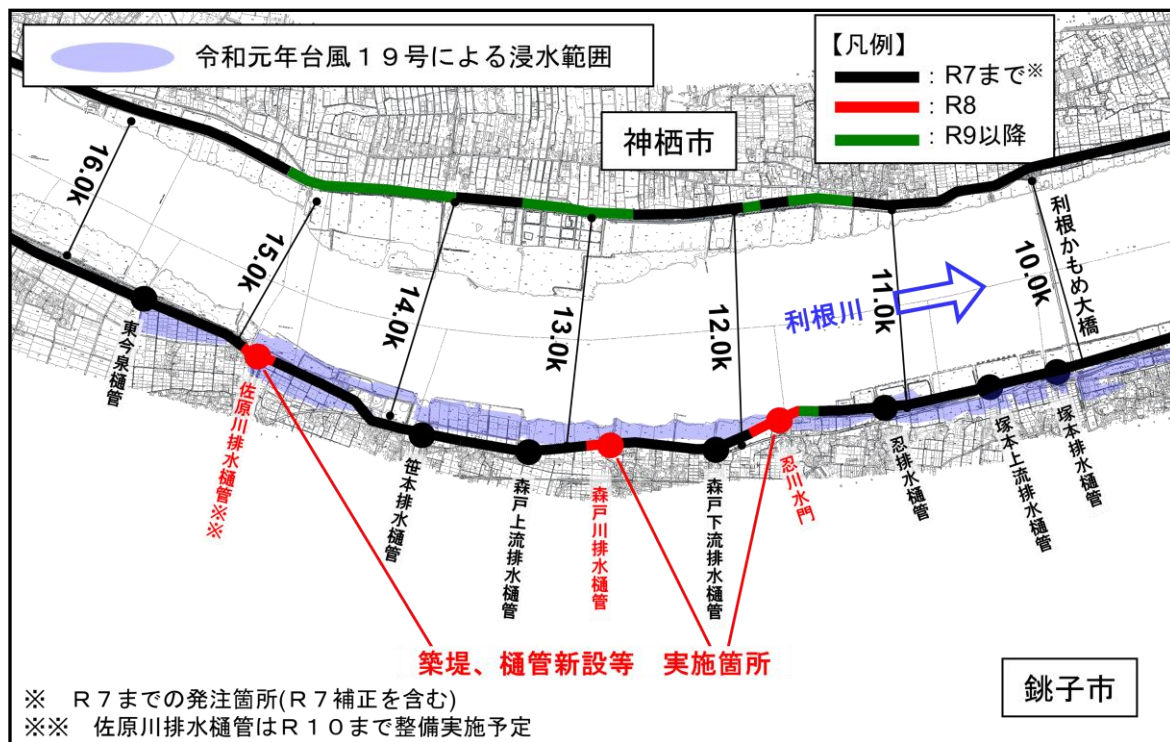
利根川水系利根川下流では、流域治水プロジェクトに基づき、令和元年台風19号により浸水被害が発生した忍町地区から桜井町地区において無堤部の堤防整備を実施し、浸水被害の解消を図ります。

令和8年度予定

築堤、樋管新設等の整備を実施します。

事業の効果

築堤等の整備を実施することで、浸水被害の解消を図ります。



整備イメージ



かせんぼうさい せいび かつよう
河川防災ステーションの整備活用（1）

事業の概要

災害時に水防活動等の拠点となる河川防災ステーション等の整備・管理を実施します。

事業の効果

危機管理対応の拠点を整備することで、迅速かつ的確な水防活動、緊急復旧活動が可能となります。また、平常時は市民の交流の場として活用されています。

①出津地区河川防災ステーション（平成11年度完成）の活用

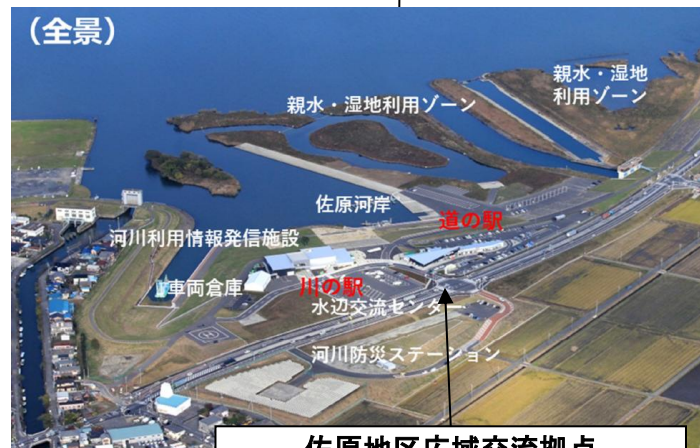
②佐原広域交流拠点【佐原地区MIZBEステーション】（平成21年度完成）

佐原地区MIZBE（河川防災）ステーションは、佐原広域交流拠点として、川の駅と道の駅が一体となり、安全で賑わいのある地域の拠点を形成しています。

この交流拠点は、令和6年度でPFI事業期事業が終了いたしました。河川空間のオープン化によって更なる利活用が図られるように令和8年度以降も引き続き香取市と連携して維持・管理、運営等を進めています。

③押付地区河川防災ステーション（事業中）

令和8年度は用地取得の継続と盛土を実施します。



かせんぼうさい せいび かつよう
河川防災ステーションの整備活用（２）

事業の概要

利根川水系利根川下流では、流域治水プロジェクトに基づき、押付地区において災害時に水防活動等の拠点となる河川防災ステーションの整備を実施します。

令和８年度予定

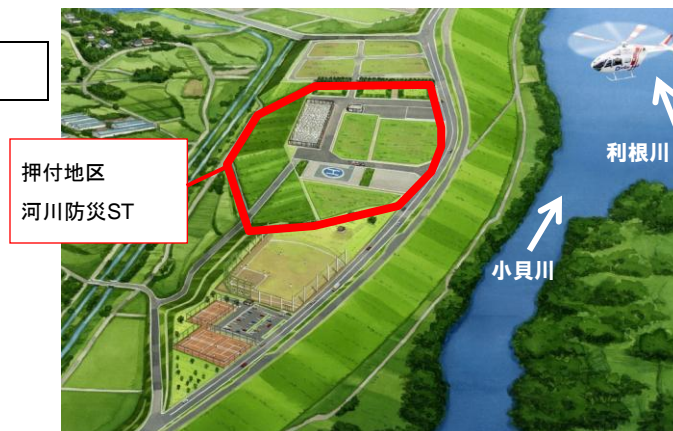
用地取得の継続と盛土を実施します。

事業の効果

危機管理対応の拠点を整備することで、迅速かつ確かな水防活動、緊急復旧活動が可能となります。



整備イメージ



とねがわかりゅうしぜんさいせい 利根川下流自然再生（１）

事業の概要

利根川下流域は、干潟や湿地の他、河川では最大級のヨシ原を有し、国際的な絶滅危惧種のオオセッカの繁殖・越冬地や、ヒヌマイトトンボなど多様な生物の生息環境となっています。しかし、高水敷の乾燥化、外来種の侵入など生息環境の消失が進んでいることから、平成25年度に利根川下流部自然再生計画を策定し、これに基づき、干潟や湿地、ヨシ原の保全・再生に取り組んでいます。

令和8年度予定

令和5年度に整備した船木・椎柴地区等のモニタリング調査を継続して実施します。

事業の効果

多様な生物の生息・生育場を育む湿地・水際環境の保全・再生を行い、また、地域との連携を図りつつ取り組むことで、利根川下流の貴重な自然環境の次世代への継承が図られます。



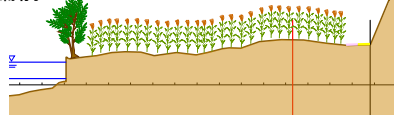
船木・椎柴地区自然再生地の状況

●利根川下流部の自然再生整備箇所

位置図



整備前

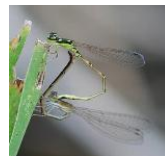


干潮時でも中央に水面が残るようなワンド等を造成

整備後



オオセッカ
(絶滅危惧ⅠB)



ヒヌマイトトンボ
(絶滅危惧ⅠB)



コジュリン
(絶滅危惧Ⅱ)

ヨシ原環境



干潟環境



河岸環境



ワンド・湿地・水路



とねがわ かりゅうし ぜんさいせい 利根川下流自然再生（2）

トピック『地域と連携した次世代への継承の取り組み』

○利根川下流の自然再生の取り組みは、専門家や自治体、地域の学生などの意見、参加を得ながら取り組んでいます。

○広大なヨシ原はオオセッカやコジュリンなどの貴重な生物の生息場となっており、健全なヨシ原を保全、改善することは地域振興の一助となることから「ヨシ焼き」を令和4年から継続して実施しています。

○地域の中学校を対象に行ってきた環境学習のノウハウを活かし、自治体や市民団体等の更なる協力を得ながら発展させていきます。

○取り組み成果を地域に発信し、地域の発展につなげるためのシンポジウムを自治体と連携して開催します。

○これらについて令和8年度も引き続き実施します。

令和7年度実施状況

第7回 利根川下流部 自然再生シンポジウム in 香取

水郷・利根川の魅力を地域とつむぐ

基調講演
利根川流域と優良灌漑水地
三橋 さゆり 一般社団法人 日本環境情報センター 理事

話題提供
水郷地域や歴史的な資源を活用した観光振興の取組
行木 寛 香取市立 東庄中学校 校長

発表
利根川の自然環境を活用した体験学習に参加して
香取市立東庄中学校1・2年生 東庄町立東庄中学校2年生
獅子市立獅子岡中学校1年生 神保町立波崎第二中学校1年生

パネリスト
コーディネーター 坂 有希子 香取市立 香取南中学校 校長
パネリスト 伊藤 友則 香取市立 香取南中学校 教員
三橋 さゆり 日本環境情報センター 理事
田嶋 光貴 香取市立 香取南中学校 教員
菅 新一郎 千葉県環境情報センター 副センター長
高橋 弘 香取市立 香取南中学校 教員
三枝 幹太郎 香取市立 香取南中学校 教員

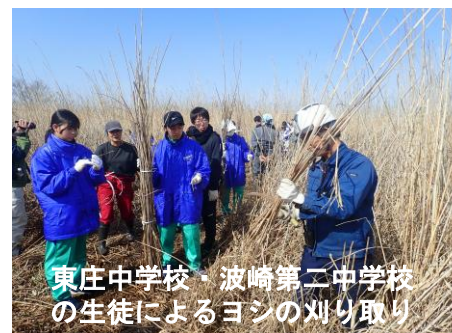
本シンポジウムは、土米学会CPD認定プログラムです。

開催日 2月6日 13:00~15:30 会場 香取市水鳥川市民センター

参加費 無料 会場 100名 オンデマンド 200名

申込方法 事前登録

TEL 0436-52-9369

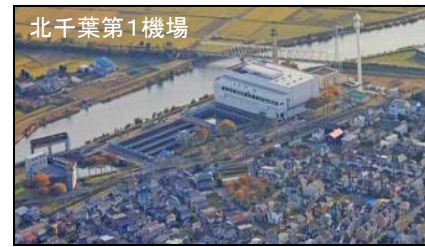


きたちば どうすい ろしせつ かんり
北千葉導水路施設管理（1）

施設の概要

北千葉導水路は、

- ① 江戸川に水が不足した時に利根川から導水して、江戸川における都市用水を確保します。
- ② また、利根川からきれいな水を手賀沼等へ導水して水質を浄化するとともに、
- ③ 洪水時には手賀川及び坂川流域の内水を排除して、浸水被害から街を守ります。



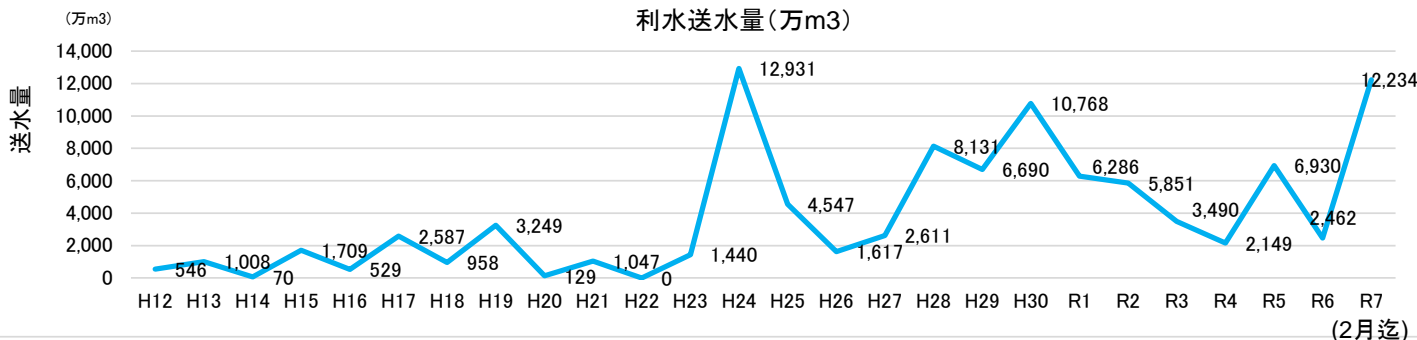
令和8年度予定

北千葉導水路運転、施設維持管理を実施します。



利根川から江戸川への都市用水の供給

近年、江戸川への都市用水の供給量が増えており北千葉導水路の重要度が高まっています。



きたちば どうすい ろしせつ かんり
北千葉導水路施設管理（2）

施設管理・水の安定供給

北千葉導水路は、東京都、埼玉県、千葉県都市用水を供給するため江戸川へ利根川の余剰水を送水しています。都市用水の供給が滞らないよう施設の点検・補修を実施します。


主ポンプ設備定期点検状況

主ポンプ内部点検状況

主ポンプ分解補修状況
北千葉導水路長寿命化対策

北千葉導水路は、平成12年の全体運用開始から26年経過しており、施設の長寿命化を図るため、学識経験者等からも意見を伺い効率的な施設の点検・補修を実施します。


導水管内点検状況

導水管内補修状況

導水管内補修状況

きたちば どうすい ろ えん てい かいりょう じぎょう

北千葉導水路堰堤改良事業

事業の概要

昭和59年の北千葉第一機場概成から42年が経過し、ポンプ設備の老朽化による故障リスクの高まりにより、故障事例が頻発し運用に支障が出ていますが、メーカーの部品供給の終了等により故障時に入手出来ない部品が多々あり点検や補修による対応が困難なことから、施設の設備改良を新たに行い信頼性向上を早急に図ります。

令和8年度予定

主原動機（ディーゼルエンジン）の製作及び冷却系統・速度制御装置の改良検討業務を行います。



事業の効果

主原動機の改良更新により、設備の故障率低減やメーカーの保守対応が可能となり、設備の信頼性が向上します。また、Co2や粒子状物質の削減など、環境負荷の低減を図ります。冷却水系統や速度制御設備の合理化（簡素化）により、維持管理費の低減を図ります。



老朽化した主原動機（ディーゼルエンジン）を改良更新



配管等の設備構成が複雑な河川水を使用する方式の冷却水系統を合理化（簡素化）



部品入手が困難となっている速度制御設備を合理化（簡素化）

か せん い じ しゅうぜん
河川維持修繕

事業の概要

管内の堤防・護岸・排水機場・水門・樋管等の河川管理施設の機能を維持し、河川の持つ治水・利水・環境の機能を保つため、施設の維持修繕及び堤防除草・河川巡視等を実施します。

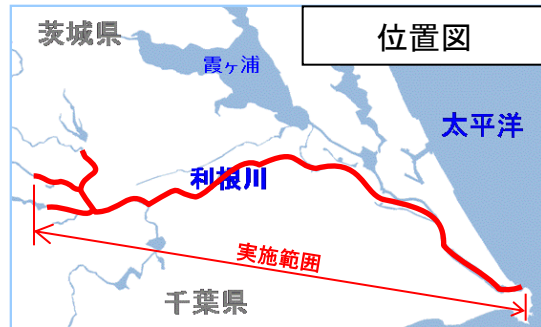
令和8年度予定

河川維持修繕として以下を実施します。

- 1) 堤防除草
 堤体の変状等を早期発見できるように除草を実施します。
- 2) 護岸・堤防の修繕
 護岸や堤防の機能を維持するために、破損が発見された場合には、修繕を実施します。



堤防除草状況



位置図



破損発見状況

- 3) 排水機場・水門・樋管等の点検
 構造物のコンクリートの劣化等、定期的な点検を実施し、異常が発見された場合には、修繕を実施します。
- 4) 河川区域・占用等の管理
 河川区域内の日常的な管理や、占有者との調整等を実施します。



構造物点検状況



履行検査状況

- 5) 水質事故・不法投棄対策
 河川内への油等の流出、また河川区域内での不法投棄が発見された場合には、環境・景観等への影響を考慮し、除去作業を速やかに実施します。
- 6) 河川巡視・堤防点検等
 河川管理施設の変状や、水質事故・不法投棄の早期発見などを目的として、河川巡視を日常的に実施し、また職員が徒歩により堤防点検等を実施します。



不法投棄状況



堤防点検状況

か せん い じ しゅうぜん き かい せつ び かんれん
河川維持修繕（機械設備関連）

令和8年度予定

- 1) 水門設備点検
 水門設備における機能を維持するために定期的な点検・整備を実施します。



- 2) 水門設備老朽化施設の更新
 老朽化し補修で賄えない設備については、トータルコストを勘案し、必要に応じて設備の更新を実施します。



- 3) 排水機場設備点検
 排水機場における機能を維持するために定期的な点検・整備を実施します。



- 4) 排水機場設備定期整備・更新
 設備の健全度を評価した結果を踏まえ、不具合発生前に定期的な分解整備や更新を実施します。



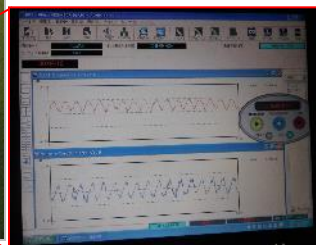
分解整備イメージ



監視制御設備
修繕イメージ

- 5) 設備の傾向管理
 定期的な点検に加え、設備の詳細点検を実施し、傾向管理を行い設備の健全度を把握します。

振動計測状況



か せん こう さく ぶつ かん れん おうきゅうたい さく
河川工作物関連応急対策

事業の概要

設置以来相当の年数が経過し、各部の老朽化による信頼性の低下や耐性に問題がある機器の更新を行い、安全・安心して排水運転が出来るようにします。

位置図



令和8年度予定

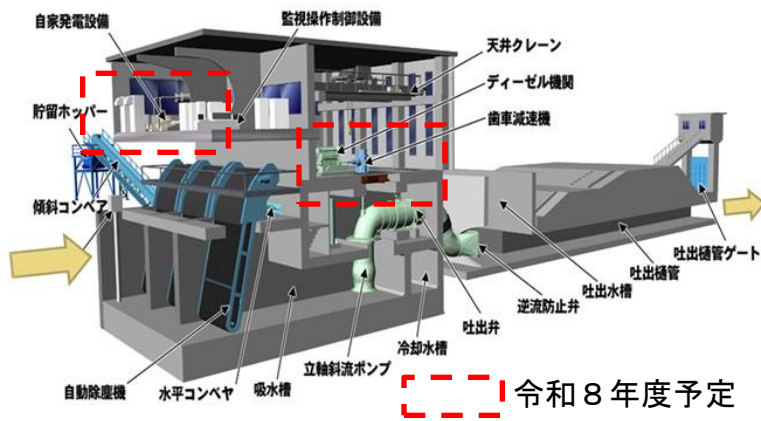
老朽化設備の更新を行うとともに冷却システムの改良を行います。

事業の効果

老朽化設備の更新を実施し設備の信頼性回復と故障発生時の復旧長期化リスクの低減を図ります。

また冷却システムを改良し、凍結対策を行わず通年で稼働可能とする改善を実施します。

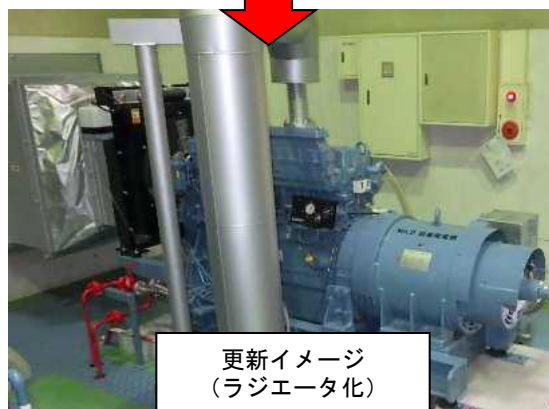
対象設備	整備内容
尾羽根川排水機場	2号主原動機（ディーゼル機関）他更新
牛久沼排水機場	1号自家発電設備更新



排水機場設備構成



自家発電設備



更新イメージ
 (ラジエータ化)

ぼう さい きょう いく とう
防 災 教 育 等

取組の概要

利根川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、平成27年9月関東・東北豪雨により鬼怒川などで大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、河川管理者、沿川自治体、関係機関が連携・協力し、目標を「逃げ遅れゼロ」と定め様々な減災活動に取り組んでいます。

その取組の一つである「小中学校において洪水等の意識・理解向上を図る水防災教育等の促進」を図るため積極的に水防災教育を実施しています。

令和7年度実施状況

令和7年度は茨城県7校・千葉県5校の計12校の小中学校に対し、小学校4年生から中学校1年生を対象とした水防災教育の出前講座17回実施し、約550名の児童・生徒に受講頂きました（千葉科学大学の学生サポーターによる講座2回を含む）。

市町	学校名
利根町	利根小学校4年生
成田市	下総みどり学園4年生、豊住小学校4年生
潮来市	牛堀小学校4年生、日の出小学校6年生
印西市	大森小学校5年生、本塾小学校（教材提供）
取手市	白山小学校5年生、藤代小学校4年生、取手小学校4年生
銚子市	椎柴小学校4、5、6年生
東庄町	東庄小学校4年生
龍ヶ崎市	城西中学校1年生

令和7年度 実施校



令和7年度 小学校での授業の様子

令和8年度予定

令和8年度も引き続き、茨城県・千葉県の利根川下流管内の小中学校で水防災教育を予定しています。地域の特性に応じた学習教材を作成し、自治体や学生サポーターと連携して、効果的かつ持続可能な水防災教育に取り組めます。

水防災教育の実施を希望される場合は、減災対策協議会事務局（利根川下流河川事務所流域治水課）までお問い合わせください。

学生サポーター制度

令和5年9月22日に、関東地方整備局管内では初となる「水防災教育推進に向けた連携協力協定（大学生による防災教育支援・通称／学生サポーター制度）が千葉県銚子市にある「千葉科学大学」と「利根川下流河川事務所」で締結されました。